

19 : JALから持続可能な農業への取組～地域との繋がりを考える～

プログラムの内容

- ▶ 航空会社であるJALが、新規事業として農業に挑戦した目的を学びつつ、異業種参入や地域との繋がりについて考えます。
- ▶ JAL Agriport社員の説明を通じて、持続可能な農業の取組と一緒に学びます。
- ▶ オプションで季節のフルーツ・野菜収穫体験などが楽しめます。

対象となる【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット】】

- ▶ **ゴール11（ターゲット 11.a）**：成田という立地を活かした農業・航空・消費の地域ぐるみの連携を通じて、都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。
- ▶ **ゴール12（ターゲット12.b）**：持続可能な農業を観光として展開していくことで、参加した学生の農業の事業性や担い手の持続可能性・特産品開発・販売の理解を深める。



事前学習

- ▶ 航空会社であるJALが農業を始めた理由と意義などを配布したワークシートから考える
- ▶ 成田空港の滑走路増設や空港ターミナル再編など、近隣地域はどうなるか考える
- ▶ 異業種の取組についてのメリットを考える

現地学習

- ▶ JALが農業に挑戦する取組について講話
- ▶ 持続可能な農業の取組を施設見学して学びます。
- ▶ フルーツや野菜収穫体験を通じて、農産品の価値を高める取組を学びます

事後学習

- ▶ 日本の農業のために、自身の暮らす地域社会でできること考える。
- ▶ 配布したワークシートをもとに、持続可能な農業の取組について、JALAgriport の課題と一緒に考えて提案してみる。

プログラムのポイント！



- ▶ 設立して6年の施設で、消費者の信頼を確保できる食品安全や環境保全・労働安全など持続可能型農業を実現するための取組（ASIA GAP認証取得）を理解する。
- ▶ 持続可能型の農業とは何かを航空会社として活かした取組を、施設見学をしながら学びます。 ※ASIAGAP・・・信頼できる農場と消費者を結ぶ認証
- ▶ オプションとして、季節のフルーツ・野菜収穫体験が楽しめます。 1～5月いちご狩り、6月じゃがいも掘り、7～9月ブルーベリー狩り、10月～11月さつまいも掘り）

受入人数	40名	対象	小学校 中学生 高校生
受入可能時期（休業日）	毎週水～金（月・火休業）	1人/1回 当たり料金	フルーツ・野菜収穫体験内容により料金異なります。講話料金別途相談
受入可能時間	10:00～17:00	備考 (雨天対応等)	雨天時、室内体験（いちご狩り）可能。屋外体験は大雨時不可。講話可能。
体験時間	60～120分		

▶ 問い合わせ

名称： JAL Agriport 株式会社
担当： 齊藤 徹 / 高橋 和歌子
住所： 成田市川上245-1002
TEL： 0476-37-6965
営業時間： 09:00～17:00
休日： 土・日・祝日